◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー ＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

2021/01/06

りそなホールディングス　市場企画部
りそな銀行　国際事業部

## ◆ 今月の相場見通し

※各マーケットコメントは12月28日（月）9:00現在
※休日の実績は前営業日

| | | 12月25日現在（矢印は11月末比） | 1月の予想 |
|---|---|---|---|
| USD | ドル・円　（円） | ↘ 103.43 | → 102.00 ～ 105.00 |
| | 2021年は先行き上昇を見込んでいるものの目先は上値が重い | | |
| EUR | ユーロ・ドル　（ドル） | ↗ 1.219 | → 1.19 ～ 1.24 |
| | ユーロ・円　（円） | ↗ 126.25 | → 123.00 ～ 127.00 |
| | 復興基金や中期予算の合意形成が安心材料で引き続き底堅く推移 | | |
| GBP | ポンド・ドル　（ドル） | ↗ 1.356 | ↘ 1.30 ～ 1.38 |
| | ポンド・円　（円） | ↗ 140.41 | ↘ 135.00 ～ 142.00 |
| | 合意なき離脱回避も、移行期間終了後は一部では混乱も想定される | | |
| AUD NZD | 豪ドル・円　（円） | ↗ 78.73 | ↗ 76.00 ～ 80.00 |
| | NZドル・円　（円） | ↗ 73.64 | ↗ 72.00 ～ 75.00 |
| | リスク選好継続、南半球でのコロナ感染落ち着きから上昇を予想 | | |
| 株式相場 | 日経平均　（円） | ↗ 26,657 | → 25,500 ～ 27,500 |
| | コロナ感染第3波が懸念されるものの景気回復期待で底堅い | | |
| | NYダウ　（ドル） | ↗ 30,200 | → 28,500 ～ 31,000 |
| | 景気回復期待とコロナ懸念で横ばい、トリプルブルーなら株高も | | |
| 長期金利 | 日本　（%） | ↘ 0.020 | → -0.01 ～ 0.05 |
| | 日銀の政策点検は10年金利への影響軽微、引き続きもみ合い | | |
| | 米国　（%） | ↗ 0.923 | → 0.80 ～ 1.00 |
| | コロナ感染高止まりも材料となりづらい、レンジ推移を予想 | | |

## ◆ 今月の注目ポイント

### バイデン大統領の正式就任

| テーマ | 注目度 | 今月の注目ポイント |
|---|---|---|
| 景気動向 | ◎ | **【コロナ変異種】**感染力の高いコロナの変異種流行が懸念材料。各国で行動制限強化につながると景気下押しとなろう。<br>**【BREXIT後の英国経済】**英国のEU離脱にかかる通商協議は最終合意に至り、年末に移行期間終了する。合意の対象外である金融などのサービス分野で混乱する可能性があり注意が必要。 |
| 金融政策 | ○ | **【日米欧会合】**各国で政策の大幅変更は想定せず。日銀会合では、3月会合目途に発表される政策点検について示唆があるか注目。 |
| 政治 | ◎ | **【米国政治動向】**米国の上院選は共和党50、民主党48（全100議席）と接戦で、1/5に残るジョージア州2議席の決選投票が行われる。現状ではねじれ議会が有力も、2議席とも民主勝利となれば上下院・大統領全て民主党のトリプルブルーとなる。1月20日にはバイデン大統領が就任へ。就任後は民主党の左派や共和党とどのように協調し政策指針を立てるか注目である。 |

## ◆ 新興国通貨見通し

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 人民元・円 | → | 15.6 ～ 16.2 | レアル・円 | ↗ | 19.0 ～ 21.5 |
| バーツ・円 | ↗ | 3.40 ～ 3.52 | メキシコペソ・円 | → | 4.90 ～ 5.50 |
| ルピア・円 | ↗ | 0.70 ～ 0.75 | ルーブル・円 | ↘ | 1.33 ～ 1.45 |
| ルピー・円 | ↗ | 1.38 ～ 1.45 | | | |

## ◆ 今月の重要日程

| | | | |
|---|---|---|---|
| 5日（火） | 米 | 12月ISM製造業 | |
| 8日（金） | 米 | 12月雇用統計 | |
| 13日（水） | 米 | 12月CPI | |
| 15日（金） | 米 | 12月小売売上高 | |
| 19日（火） | 中 | 20/4Q GDP | |
| 20日（水） | 米 | 大統領就任式 | |
| 21日（木） | 日 | 日銀金融政策決定会合 | |
| 21日（木） | 欧 | ECB理事会（結果発表） | |
| 22日（金） | 日 | 12月CPI | |
| 22日（金） | 欧 | 1月PMI | |
| 27日（水） | 米 | FOMC（結果発表） | |
| 28日（木） | 米 | 20/4Q GDP速報値 | |

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

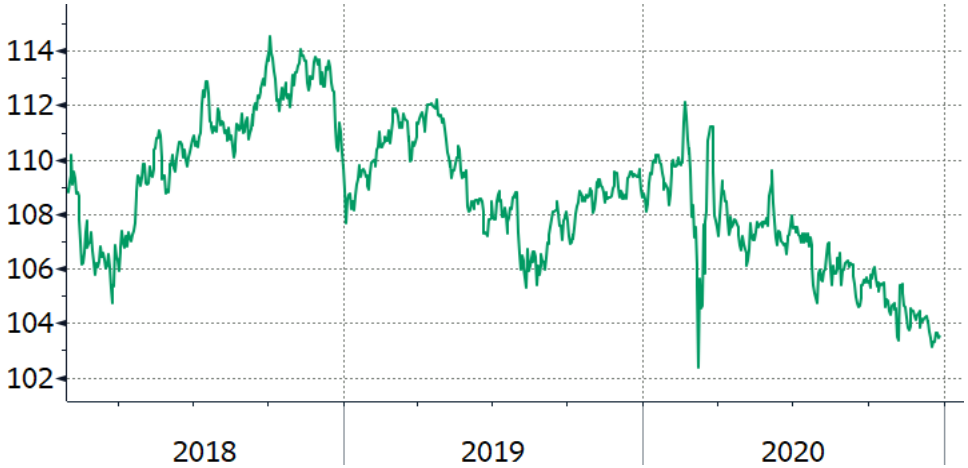
◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## ◆ 今月の相場見通し① 為替（ドル･ユーロ）

### ド ル 円




出所：Bloomberg

| | | |
|---|---|---|
| 米ドル円 | ⇨ ドル円は横ばい | **102.00 – 105.00**円 |

**ドル円は先行き上昇を見込んでいるものの目先は上値の重さが継続か**

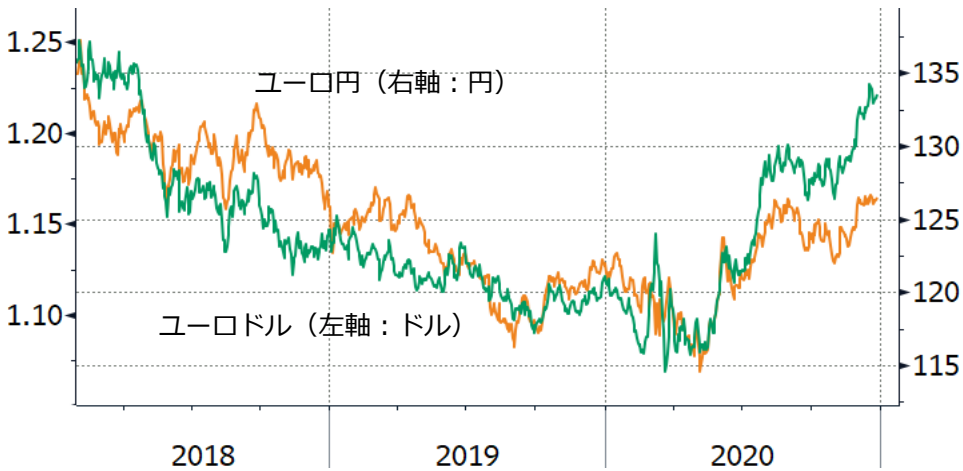
2020年後半以降のドル円相場はドル安地合いが続く中でじりじりとレンジを切り下げてきた。ドル安の要因はFRBによる金融緩和と米国の財政拡張による双子の赤字懸念、これにリスク選好による安全資産のドル売りが重なったことが背景とみている。

金融政策面では、他国も緩和的な環境となる中でFRBは既にゼロ金利政策を実施しており更なるドル安圧力は限定的。ドル安進行は徐々に一服し、コロナ感染再拡大の動きが落ち着き米国経済の回復基調が鮮明となると、ドルは対円で買い戻しが入りやすいとみている。

ただし足元では感染再拡大への警戒が続く中で、米国では追加経済対策等による財政拡張の流れが続きドル安要因は払拭しきれていない。また1月はドル円下落の季節性があり、過去10年で7回、直近は4年連続でドル円が下落している。

ドル円は先行き上昇を見込んではいるものの、目先は上値の重い展開が続きそうだ。

### ユ ー ロ




出所：Bloomberg

| | | |
|---|---|---|
| ユーロドル | ⇨ ユーロドルは横ばい | **1.19– 1.24ドル** |
| ユーロ円 | ⇨ ユーロ円は横ばい | **123.00 – 127.00**円 |

**ユーロドル、ユーロ円はともに横ばいを予想**

12月はユーロドル、ユーロ円ともに狭いレンジの範囲内で堅調に推移。欧州ではフランスやスペインではコロナ感染者のピークアウトも、ドイツなどでは行動制限の強化などがとられるなど各国まちまちの動き。12月のECB会合では市場予想通り追加緩和が行われた一方、足元のユーロ高については強い言及が行われなかった。EU首脳会合では復興基金や中期予算の合意が形成されるなどしたことが安心感となった。

1月のユーロも引き続き底堅く推移するとみる。英国のＥＵ離脱については、通商協議について最終合意に至り、懸念点の一つが払拭された。コロナワクチンの接種も着実に進んでおり、ユーロは底堅く推移するとみる。

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

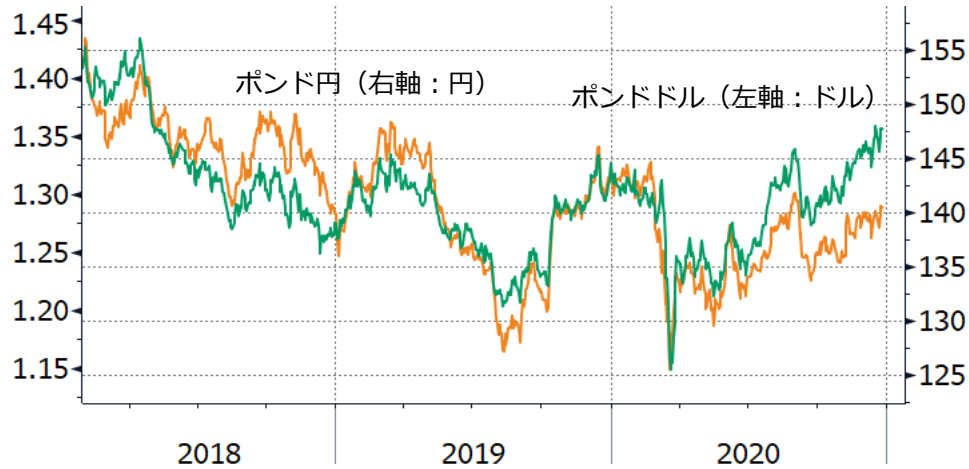
◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## ◆ 今月の相場見通し② 為替（ポンド・豪ドル・NZドル）

### ポ ン ド




出所：Bloomberg

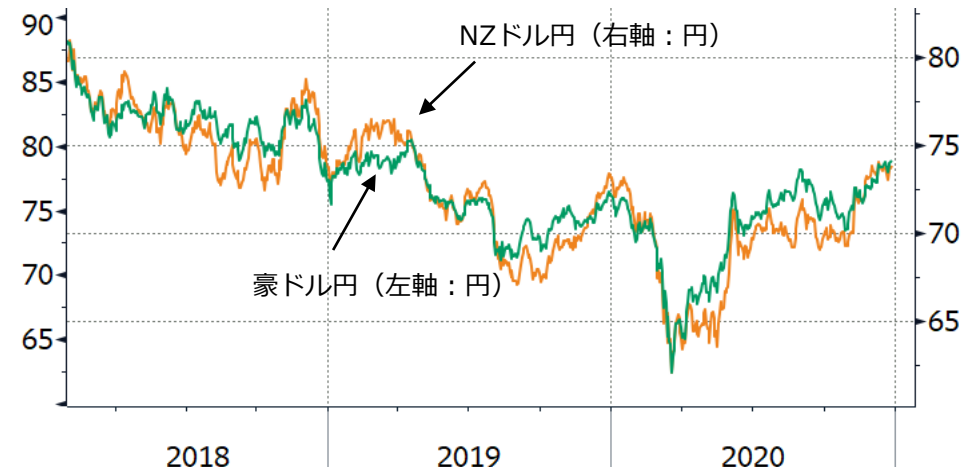
| | | |
|---|---|---|
| ポンドドル | ポンドドルは下落 | **1.30– 1.38ドル** |
| ポンド円 | ポンド円は下落 | **135.00 – 142.00円** |

**ポンドドル、ポンド円はともに下落を予想**

12月のポンドは、英国のEU離脱にかかる通商協議が難航かつ年末の移行期間終了が近づき、一時的に大幅下落する局面もあったが、月後半に通商協議などが最終合意に至ったことで持ち直した。

1月のポンドは下落を予想。年末に移行期間が終了することで年明けより正式離脱となる。離脱後は、今回の合意に対象外である金融などのサービス面での混乱も想定され、離脱協議の合意への期待で高値圏で推移していたポンドは下落しやすいと予想する。また、コロナの変異体の流行による行動制限も長引く可能性があり注意が必要。

### 豪 ド ル ・ N Z ド ル




出所：Bloomberg

| | | |
|---|---|---|
| 豪ドル円 | 豪ドル円は上昇 | **76.00 – 80.00円** |
| NZドル円 | NZドル円は上昇 | **72.00 – 75.00円** |

**豪ドル円、NZドル円は上昇を予想**

12月のオセアニア通貨は英米でのワクチン接種が開始されたことでリスク選好度が高まり、鉄鉱石などの資源価格が上昇したことや、ドル安地合いの継続などから底堅い推移となった。両通貨ともコロナショック後の最高値を更新後、もみ合う展開となっている。

1月のオセアニア通貨も、引き続きリスク選好の動きから底堅い展開を予想。北半球でコロナの第3波が猛威を振るう中、南半球で夏を迎える両国の感染は抑えられていることもポジティブ。一時マイナス金利導入の思惑が高まっていたNZ中銀は、住宅バブルへの懸念から今後の利下げには慎重になると見られ、NZドルを下支えしよう。一方、引き続き当局による通貨高へのけん制発言や、先鋭化する豪中の貿易摩擦、北半球で再拡大しつつあるコロナ感染動向やドル安の転換には注意が必要と見る。

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

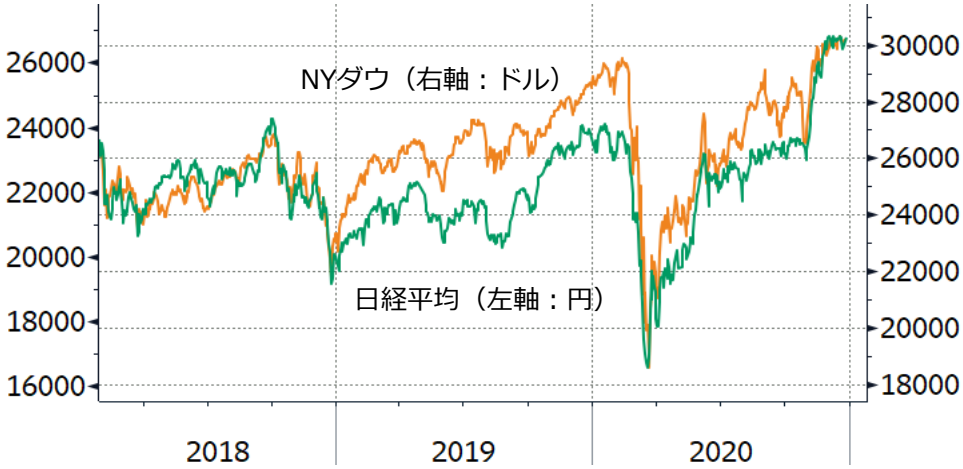
◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## ◆ 今月の相場見通し③ 株式、長期金利

### 株 式 見 通 し




出所：Bloomberg

| 日経平均 | ⇨日経平均は横ばい | 25,500 – 27,500円 |
|---|---|---|

**日本株は横ばいを予想**

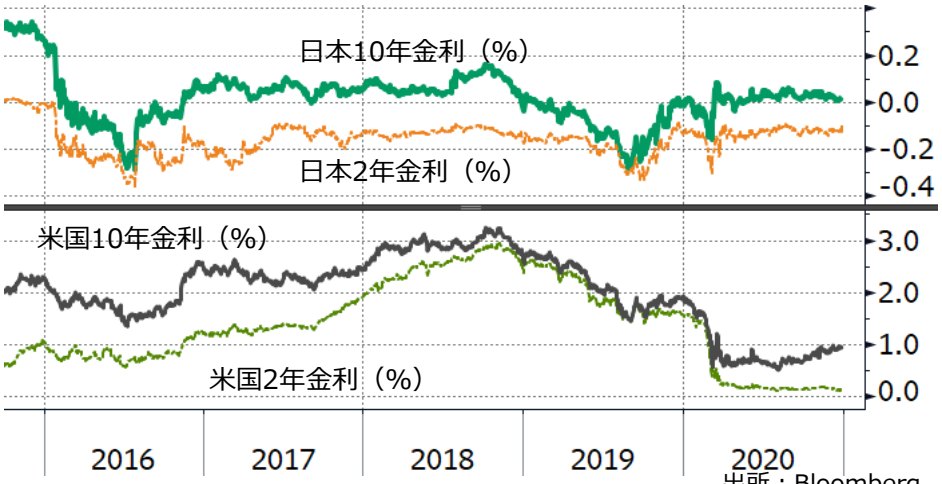
11月の急ピッチな上昇後、12月は一進一退でもみ合う展開となった。1月の株価は、引き続き景気回復期待に伴うリスク選好の流れから底堅い推移を予想する。一方、国内外でのコロナ第3波は引き続き懸念され、医療体制が逼迫すれば今後緊急事態宣言等が発令される可能性もある。また英国でウイルス変異種が報告されるなどしており、上値が抑えられる場面もあろう。

| NYダウ | ⇨ ダウは横ばい | 28,500 – 31,000ドル |
|---|---|---|

**米国株は横ばいを予想**

市場はバイデン大統領、議会ねじれを織り込んでいるが、1/5のジョージア州の決選投票次第ではトリプルブルー（大統領、上下院民主）の可能性も引き続き残る。その場合は先行きの財政出動や政策実現性への期待から株価は上昇する可能性もあろう。足元ではワクチンの接種も始まり、景気回復への期待感も高まっているが、足元で感染速度の速いコロナの変異種も見つかるなど懸念材料も出てきており、投資家のセンチメントを冷やす可能性に注意。

### 長 期 金 利 見 通 し




出所：Bloomberg

| 日本国債10年 | ⇨ 金利は横ばい | ▲0.01 – 0.05% |
|---|---|---|

**日本国債は金利横ばいを予想。**

第3次補正予算、来年度予算案が閣議決定、来年度の国債発行は106.6兆円と過去最大ではあるが、発行スケジュールベースでは従来比で40年債のみ増額。日銀は12月会合で金融政策点検の方針を発表したが、金融緩和の枠組み自体は見直さずとしており、10年金利への影響は軽微だろう。長期金利は引き続き0.0%台前半を中心としたもみ合いとみられる。

| 米国債10年 | ⇨ 金利は横ばい | 0.80 – 1.00% |
|---|---|---|

**米国債は金利横ばいを予想。**

1月5日のジョージア州の上院決戦投票では、共和党が1議席以上獲得し、トリプルブルーとなることを阻止、拡張的な財政政策への期待は盛り上がらないとみる。コロナ感染拡大は高止まりするものの、行動制限は限定的であり、マーケットの材料にはならないであろう。レンジの範囲内での推移になると予想。

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## ◆ 今月の相場見通し④ 新興国通貨（アジア）

| | | 12/25 | 1月の予想 | | 12月のレビュー | 1月の見通し |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 中国 | 人民元/円 | 15.81 | ⇨ | 15.6～16.2 | 12月はドル人民元は小幅に下落。中国経済の強さや米中通商摩擦の落ち着き等の元高要因が残るものの、足元では人民元高圧力に一服感がみられる。それでも為替市場ではドル安地合いが強く、ドル人民元は6.5台前半にレンジを切り下げるとその後はもみ合う展開となった。対円では概ね横ばいで方向感が出づらかった。 | 中国経済の堅調さが人民元高に働く展開は続くが、人民元の実効レートは高値圏にあり一層の買い圧力は限定的とみている。ドル安地合いにも徐々に一服感が出る中で、ドル人民元は下値6.5前後でもみ合う展開を想定している。ドル、人民元、円の動きに明確な方向感を出すドライバーが乏しく、目先は対円相場も横ばいを想定。 |
| | ドル/人民元 | 6.54 | ⇨ | 6.40～6.65 | | |
| タイ | バーツ/円 | 3.45 | ↗ | 3.40～3.52 | 月前半はリスク選好のドル安、アジア通貨買いとなりドルバーツはじりじりと下落。16日に公表された米国の為替報告書でタイが監視リストに追加されると、29.8を割り込んで急落した。しかしながら、これまでコロナを比較的封じ込めていたタイでもエビ市場でクラスター発生し感染者が急増。一部でロックダウンの措置がとられると急速にバーツ売りが進んだ。 | 足元の感染再拡大と経済制限がどのように推移するかがポイント。メインでは首都バンコク等の都市封鎖には至らず、鎮静化とともに再びバーツ高地合いを予想。タイ中銀はバーツ高へのけん制を続けるものの、米国為替報告書の監視国リスト入りもあり取れる手段は限られる。ドル安地合いは徐々に一服してドルバーツの下値は限定的とみるが、じりじり低下する展開を予想。 |
| | ドル/バーツ | 30.09 | ↘ | 29.5～30.8 | | |
| インドネシア | ルピア/円 | 0.726 | ↗ | 0.70～0.75 | 12月のインドネシアルピアは、月を通じて高値圏でのもみ合い推移となった。17日の金融政策決定会合では、金利は据え置かれた。下旬にかけてコロナ変異種への警戒を受けドルが一時強含んだことから、ルピアは対ドルで売られる場面もあった。対円では中旬以降弱含む展開となった。 | インドネシア中銀は直近の金融政策決定会合で金利を据え置き。各国が利下げを行う中、インドネシアの金利は相対的に高く、経済が緩やかに回復の兆しが見えている中では更なる利下げは慎重になる可能性。インドネシアルピアも底堅い推移を予想。一方で、足元コロナの変異種の拡大が懸念される中ではリスクセンチメントの低下からドルが反転し、ルピアも弱含む可能性には注意。 |
| | ドル/ルピア | 14,200 | ↘ | 13,800～15,000 | | |
| インド | ルピー/円 | 1.41 | ↗ | 1.38~1.45 | 12月のインドルピーは堅調な経済指標やドル安、株価が堅調に推移したこと等を受け底堅い推移となった。月の後半にはコロナ変異種や高値への警戒感から下落する場面もあったが、その後底堅さを取り戻している。インド中銀は引き続き積極的に為替介入を行っているものとみられる。対円では対ドルとほぼ同じ動き、月間では横ばい。 | インフレの高止まりからインド中銀は引き続き利下げに踏み込みづらい状況。また引き続きインド株式市場を中心に海外投資家からの旺盛な資金流入がみられており、ルピーの底堅い動きは継続しやすいとみる。またドル安も下支え要因。一方、インド中銀は引き続きルピー高回避のため積極的なインドルピー売りドル買い介入を行っており、上昇ピッチは緩やかであろう。 |
| | ドル/ルピー | 73.55 | ↘ | 73.0～74.5 | | |

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## ◆ 今月の相場見通し⑤ 新興国通貨（中南米・ロシア）

| | | 12/25 | 1月の予想 | | 12月のレビュー | 1月の見通し |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ブラジル | レアル/円 | 19.85 | ↗ | 19.0～21.5 | 12月のブラジルレアルは、対ドル、対円ともに月前半は上昇も後半やや巻き戻す動き。12月9日に行われたブラジルの金融政策決定会合では政策金利は市場の予想通り据え置き。鉄鉱石などの資源価格の上昇を受け、12月前半は堅調に推移した。 | ブラジルレアルは上昇を予想。12月に行われた金融政策決定会合では、ややタカ派的な発言も見られ、今後政策転換への期待が高まる可能性がある。また、中国の経済回復や鉄鉱石を中心に資源価格の上昇がレアルを後押しする可能性があると予想する。 |
| | ドル/レアル | 5.17 | ↘ | 4.80～5.40 | | |
| メキシコ | ペソ/円 | 5.21 | → | 4.90～5.50 | 12月のメキシコペソは、底堅く推移。隣接国で経済的関係が深い米国の景気が底堅く推移していることから、メキシコ経済も恩恵を受けており経済指標でも回復が確認できる。米国で追加の経済対策協議が進展していることも材料視された。 | メキシコペソはもみ合いで推移するとみる。足元で11月の消費者物価は10月と比較すると低下、中央銀行が目標とレンジを下回った。再び中銀の追加緩和の条件が整っておりペソ安材料となりうる。一方で、1月には米国でバイデン大統領が誕生し、対メキシコ政策が緩和的になるとの期待は根強く、メキシコペソは底堅く推移するとみる。 |
| | ドル/ペソ | 19.86 | → | 19.0～21.5 | | |
| ロシア | ルーブル/円 | 1.40 | ↘ | 1.33～1.45 | 12月のロシアルーブルは、対ドル、対円ともに上昇。原油価格やその他資源価格が堅調に推移したことからルーブルが買われた。18日の金融政策決定会合では3会合連続で金利が据え置かれた。 | 1月のロシアルーブルは下落を予想。米国でバイデン大統領が正式に就任すると、トランプ政権に比べ対ロシアでは厳しい対応をとることが想定され、ルーブルの押し下げ圧力となろう。また、10月の反体制派指導者毒殺疑惑を巡りEUと対立。足元で制裁の応酬に発展しており、ルーブルの上値を重くする可能性がある。 |
| | ドル/ルーブル | 74.18 | ↗ | 72.5～78.0 | | |

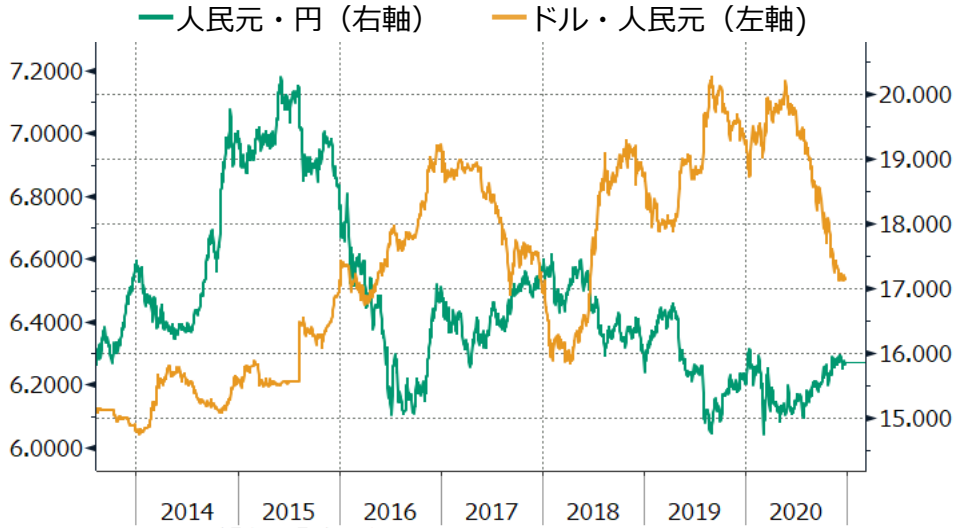
◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

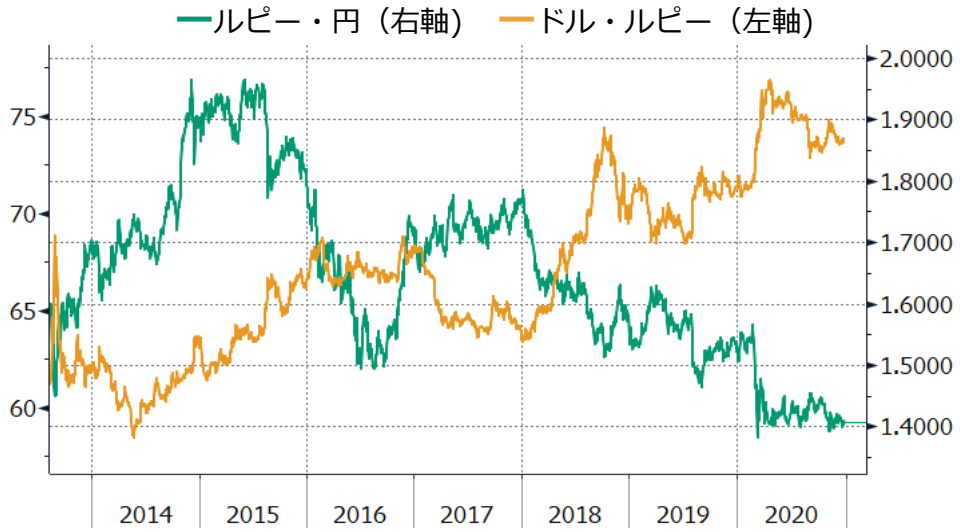
◎注意事項をよくお読み下さい

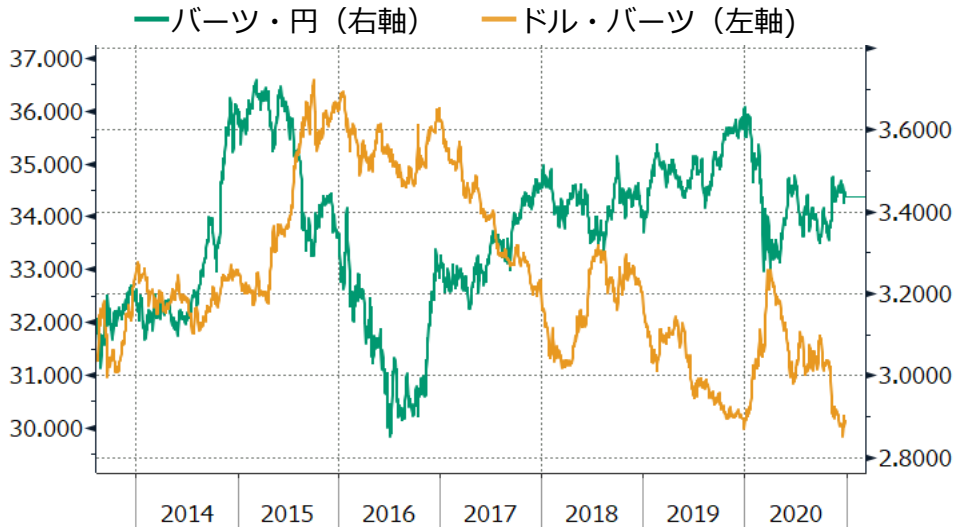
りそなグループ

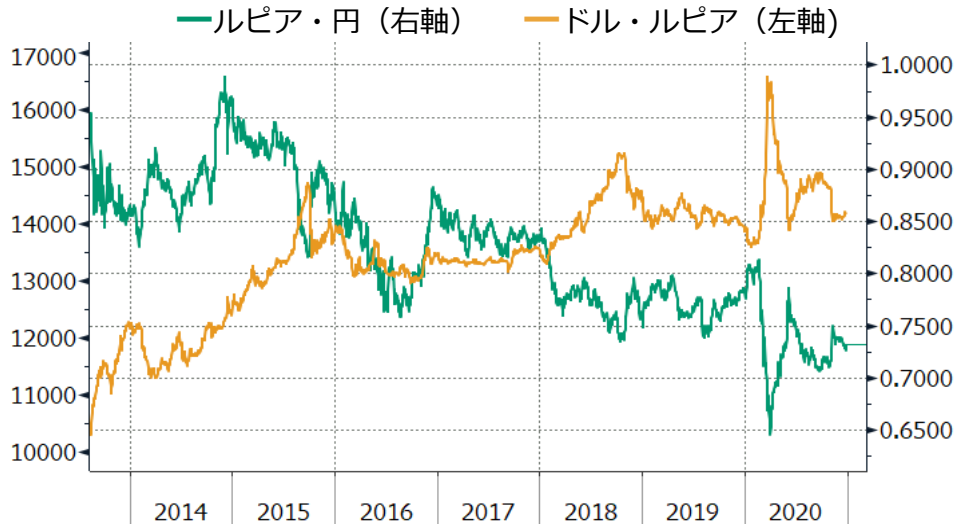
# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## ◆ 新興国通貨チャート




◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

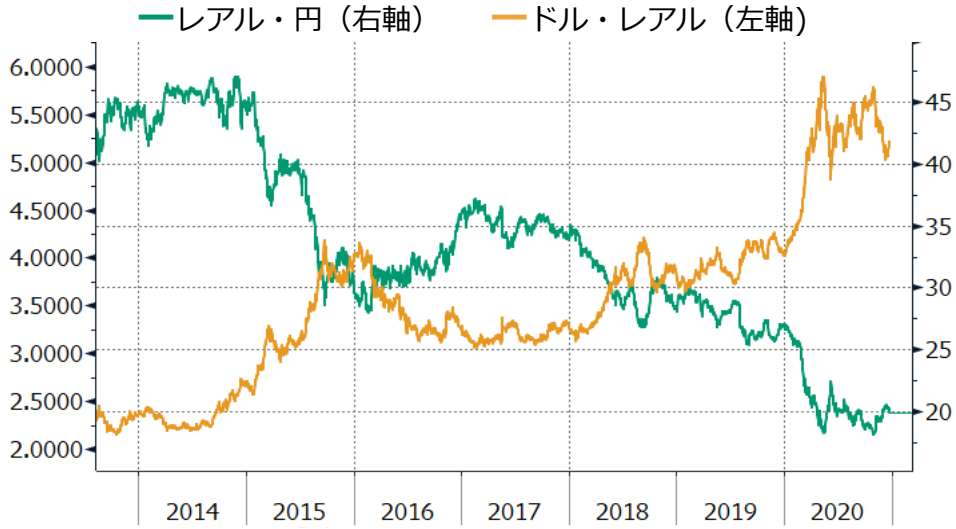
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

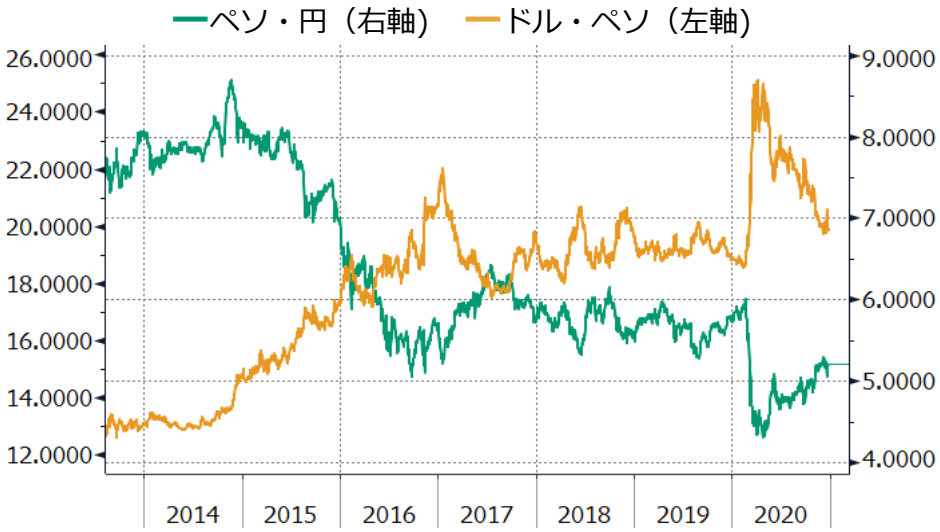
◎注意事項をよくお読み下さい

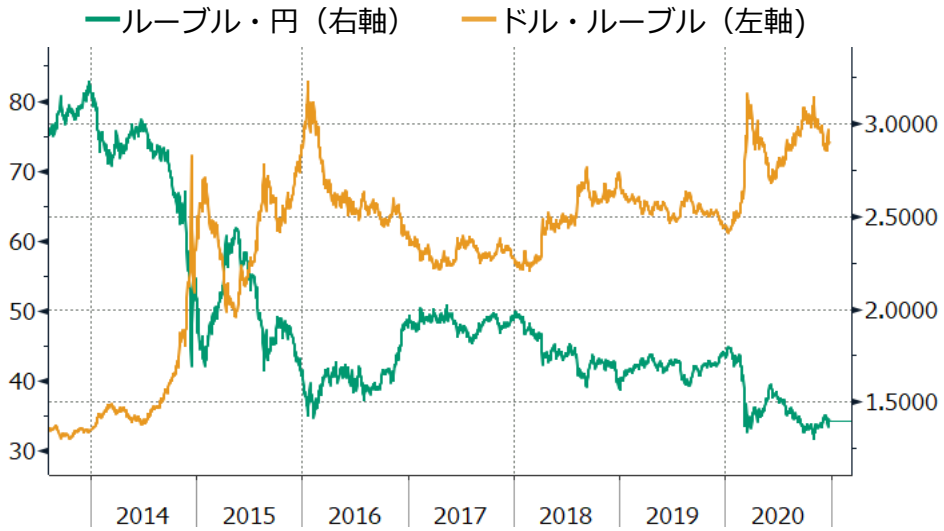
りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ (2021年1月号)

## ◆ 新興国通貨チャート




◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## ◆ 年間為替見通し

| | | 2021年 | | | | ポイント |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1～3月 | 4～6月 | 7～9月 | 10～12月 | |
| ドル円 | レンジ | 102～112 | 102～112 | 102～112 | 102～112 | 足元のドル安地合いは徐々に一服。米経済回復から日米金利差拡大しドル円は110円を目指す動き。 |
| | 期末値 | 108 | 108 | 108 | 110 | |
| ユーロドル | レンジ | 1.12～1.22 | 1.12～1.20 | 1.11～1.19 | 1.10～1.18 | 欧州復興基金設立をきっかけとしたユーロへの期待は強い。各国の選挙などには注意。 |
| | 期末値 | 1.17 | 1.16 | 1.15 | 1.14 | |
| ユーロ円 | レンジ | 120～130 | 119～129 | 119～130 | 119～130 | |
| | 期末値 | 125 | 124 | 124.5 | 124.5 | |
| ポンドドル | レンジ | 1.24～1.36 | 1.22～1.34 | 1.20～1.32 | 1.18～1.30 | EUとの通商協議は最終合意となったが、すでに織り込み済み。合意対象外の金融などのサービスで混乱が起こる可能性に注意。 |
| | 期末値 | 1.30 | 1.28 | 1.26 | 1.24 | |
| ポンド円 | レンジ | 130～142 | 128～140 | 128～140 | 128～140 | |
| | 期末値 | 136 | 137 | 136 | 136 | |
| 人民元円 | レンジ | 15.0～17.5 | 15.0～17.5 | 15.3～17.5 | 15.4～17.5 | 堅調な中国経済が人民元を押し上げるが、年後半はグローバル経済の回復で人民元の優位性が薄らぐ。 |
| | 期末値 | 16.6 | 16.6 | 16.4 | 16.4 | |
| ドル人民元 | レンジ | 6.40～6.80 | 6.40～6.80 | 6.40～6.80 | 6.60～6.90 | |
| | 期末値 | 6.50 | 6.50 | 6.60 | 6.70 | |
| 豪ドル円 | レンジ | 75.0～80.0 | 78.0～82.0 | 80.0～84.0 | 80.0～84.0 | グローバルな景気回復期待から底堅い動きが継続。中国との貿易摩擦の先鋭化には注意。 |
| | 期末値 | 78.0 | 80.0 | 82.0 | 82.0 | |
| タイバーツ円 | レンジ | 3.35～3.70 | 3.30～3.65 | 3.30～3.70 | 3.40～3.75 | 安定した経常黒字がバーツ高の支え。タイ中銀はバーツ高嫌うも追加緩和余地乏しい。 |
| | 期末値 | 3.50 | 3.50 | 3.50 | 3.55 | |

◎注意事項　　お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ (2021年1月号)

## ◆ マーケットカレンダー

| | 日本 | 米国 | その他 |
|---|---|---|---|
| 1/1(金) | (元日) | (元日) | |
| 1/4(月) | | 11月建設支出 | |
| 1/5(火) | 国庫短期証券(3か月) | 12月ISM製造業景況感指数 | |
| 1/6(水) | 10年利付国債<br>12月消費動向調査 | 12月ADP民間雇用調査 | |
| 1/7(木) | 11月毎月勤労統計<br>国庫短期証券(6か月) | 11月貿易収支 | (EU) 11月小売売上高 |
| 1/8(金) | 11月景気動向指数<br>30年利付国債<br>国庫短期証券(3か月) | 11月消費者信用残高<br>12月雇用統計 | |
| 1/11(月) | (成人の日) | | |
| 1/12(火) | 11月国際収支<br>12月景気ウォッチャー調査 | | |
| 1/13(水) | 5年利付国債 | 12月CPI<br>12月財政収支 | (EU) 11月鉱工業生産 |
| 1/14(木) | | 12月輸入物価指数 | |
| 1/15(金) | 11月第3次産業活動指数<br>国庫短期証券(3か月)<br>流動性供給入札(残存期間5年超15.5年以下) | 11月企業在庫<br>12月鉱工業生産<br>12月小売売上高 | |

| | 日本 | 米国 | その他 |
|---|---|---|---|
| 1/18(月) | 11月稼働率 | (キング牧師誕生日) | |
| 1/19(火) | 20年利付国債<br>国庫短期証券(1年) | | (独) 1月ZEW景気期待指数 |
| 1/20(水) | 国庫短期証券(6か月)<br>日銀金融政策決定会合(～21日) | | |
| 1/21(木) | 12月貿易統計<br>黒田日銀総裁定例会見 | 12月住宅着工 | (EU) ECB定例理事会 |
| 1/22(金) | 12月CPI<br>国庫短期証券(3か月)<br>流動性供給入札(残存期間1年超5年以下) | 12月中古住宅販売件数 | (EU) 1月ユーロ圏PMI |
| 1/25(月) | | | (独) 1月IFO景況指数 |
| 1/26(火) | 40年利付国債<br>日銀金融政策決定会合議事要旨(12/17～18開催分) | FOMC(～27日) | |
| 1/27(水) | | | |
| 1/28(木) | 2年利付国債 | 10-12月期GDP速報値 | |
| 1/29(金) | 12月雇用統計<br>12月鉱工業生産<br>12月住宅着工件数<br>1月消費動向調査<br>国庫短期証券(3か月) | 12月個人所得・消費支出<br>12月中古住宅販売成約指数 | |

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

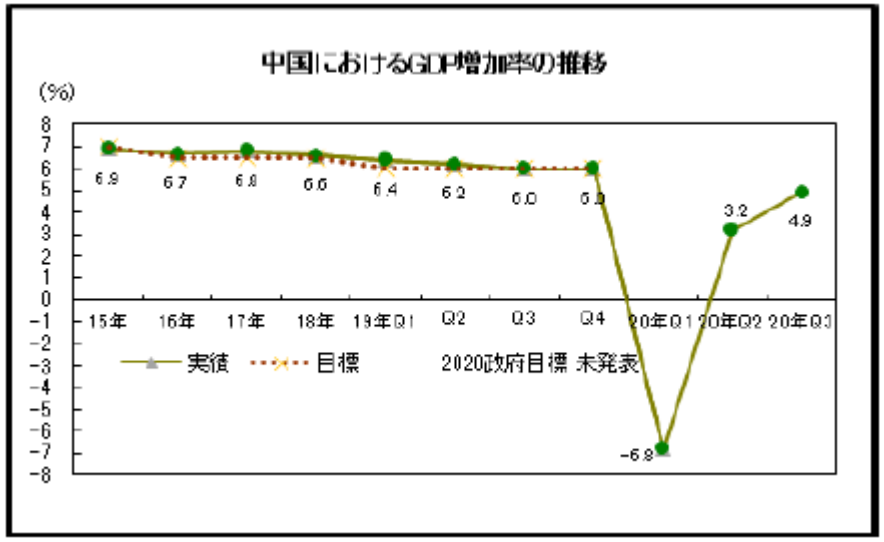
## 中国の動向-主要トピックス①

りそな銀行上海駐在員事務所

**【11/27 ～ 12/3】**

### ◎１１月の製造業ＰＭＩが５２．１と高水準

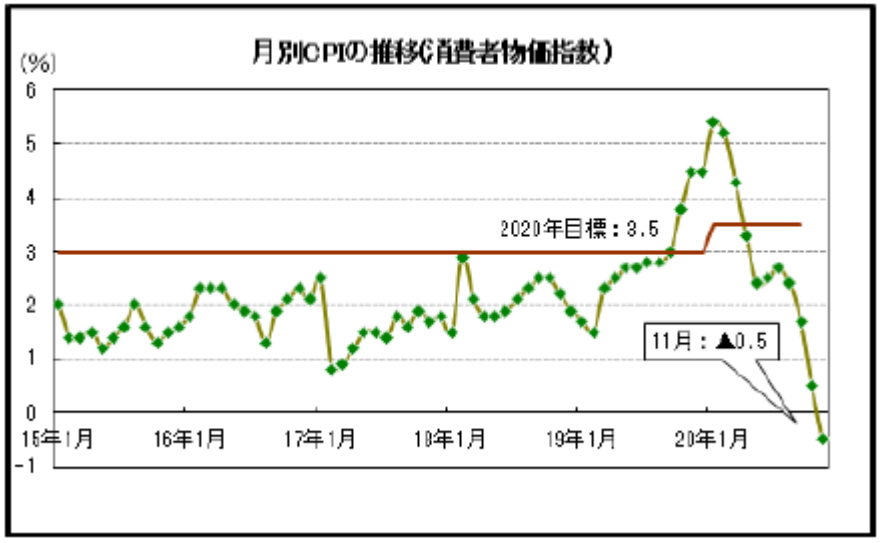
中国国家統計局によると、１１月の製造業購買担当者指数（ＰＭＩ）は５２．１だった。これは２０１７年９月の５２．４以来、約３年ぶりの高水準となった。内訳としては、生産５４．７、新規受注５３．９となり、供給及び需要を示す指数がいずれも年内の最高値となった。同局の報道官は、「中国経済は安定した回復を継続しているが、回復には業種ごとのばらつきもある」と説明した。一方で、雇用指数は４９．５と５０を割り込んでおり、依然として厳しい状況が続いている。




**【12/4 ～ 12/10】**

### ◎１１月ＣＰＩが０．５％下落１１年ぶりのマイナス

中国国家統計局によると、１１月の消費者物価指数（ＣＰＩ）は前年同月比０．５％の下落となった。マイナスとなるのは２００９年１０月（リーマンショック後の世界金融危機の時期）以来。豚肉をはじめとする食品価格の下落が主な要因であり、比較対象となる前年同月の物価水準も比較的高かったことも影響した。また、交通銀行金融研究センターの劉氏は同数値について、「足元の消費需要が弱い状況を反映し、更に下落するリスクがある」との見方を示している。




◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## 中国の動向-主要トピックス②

りそな銀行上海駐在員事務所

### 【12/11 ～ 12/17】

### ◎１１月の主要指標今年最高を更新

中国国家統計局によると、１１月の鉱工業生産額（７％増）、固定資産投資（２．６％増）、個人消費の指標となる社会小売総額（５．０％増）がいずれも今年最高の成長率（前年同期比）を記録した。うち、消費のみが１～１１月の累計で前年比マイナスとなっているが、単月ベースでは４カ月連続のプラス成長と回復傾向にある。また、全国都市部失業率（調査ベース）は５．２％となり、前月からやや改善した。１～１１月の都市部新規就職者数は１，０９９万人となり、通年目標の「９００万人以上」を上回っている。

### 【12/18 ～ 24】

### ◎新幹線に「静音車両」が登場

12月24日、北京⇔上海、成都⇔重慶区間に運行している一部の新幹線が「静音車両」サービスを提供開始しました。乗客は公式サイト、アプリなどを通じて切符を購入する場合、自主的に３号車両（２等席、定員90名）となる「静音車両」を選択することができるようになりました。「静音車両」内に設置されているビデオ映像はすべて静音モードとなっており、車内放送の音量も通常の40%以下に抑えられているようです。また、飲み物やおやつなどを販売するワゴン車も乗客に声かけずに、静かに通過することになります。なお、乗客に対しては、携帯、PCなど各種デバイスの利用についてイヤホン利用もしくは静音モードが求められます　。メディアによると、北京⇔上海「静音車両」は初日で満席となりました。早くすべての車両に展開してほしいと多くの人はそう思うでしょう。

## 主要経済指標

<月次データ>

| 項目 | 単位 | 2020/1 | 2020/2 | 2020/3 | 2020/4 | 2020/5 | 2020/6 | 2020/7 | 2020/8 | 2020/9 | 2020/10 | 2020/11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実質GDP成長率 | % | - | - | -6.8 | - | - | 3.2 | - | - | 4.9 | - | - |
| 消費者物価上昇率 | % | 5.4 | 5.2 | 4.3 | 3.3 | 2.4 | 2.5 | 2.7 | 2.4 | 1.7 | 0.5 | -0.5 |
| 失業率 | % | - | - | 3.7 | - | - | 3.8 | - | - | - | - | - |
| 輸出額 | 10億ドル | - | - | 185.1 | 200.1 | 207.1 | 213.6 | 237.6 | 235.3 | 239.8 | 237.2 | 268.1 |
| 輸入額 | 10億ドル | - | - | 165.1 | 154.9 | 144.1 | 167.2 | 175.3 | 176.3 | 202.8 | 178.7 | 192.7 |
| 経常収支 | 100万ドル | - | - | -33,696 | - | - | 76,472 | - | - | 168,706 | - | - |
| 外貨準備高 | 10億ドル | 3,115.5 | 3,106.7 | 3,060.6 | 3,091.5 | 3,101.7 | 3,112.3 | 3,154.4 | 3,164.6 | 3,142.6 | 3,128.0 | 3,178.5 |
| 主要政策金利 | % | 4.35 | 4.35 | 4.35 | 4.35 | 4.35 | 4.35 | 4.35 | 4.35 | 4.35 | 4.35 | 4.35 |
| 対ドル為替レート | 人民元 | 6.92 | 7.00 | 7.02 | 7.07 | 7.11 | 7.08 | 7.01 | 6.93 | 6.81 | 6.70 | 6.60 |

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値　　主要政策金利：1年物貸出基準金利　　出所：Bloomberg

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

"上海下午茶"（上海からティータイム）

りそな銀行上海駐在員事務所

## ○中国におけるIoT市場規模について

2015年頃から、中国におけるIoT市場は急成長しつつあり、2018年までで利用数（接続量）は約28億に上り、2018年の年内成長率は81%にも達しました。スマートホームにおける利用等を背景に、2020年には利用数が67.2億台まで上昇することが見込まれます。さらに5Gの普及により、工業、商業目的の利用数が増加し、2025年までには利用台数が200億台に近いレベルに成長すると大手調査会社が推測しています。

また、中国におけるスマートホームの市場普及率はわずか4%（2018年時点）に留まり、同時期の米国における普及率の32%と比べて浸透が遅れていると国内の通信研究院が発表しました。また、同分野の市場規模は2020年までに5,819億元に成長するとの予測も示しました。

なお、スマートホームなど消費型IoTは当面変わらずIoT応用における最も大きなマーケットではありますが、将来的には工業向けIoTや都市管理向けIoTの成長も非常に有望であるとの見方も示しています。

なお、世界の市場については、IoTの端末接続量が2020年度で200億台を突破すると米国の大手IT調査会社が予測しています。また、市場規模についても、今年度で約3兆米ドルに達することが見込まれており、20~30%の高成長が続いています。

## ○「嫦娥（じょうが）」とは

中国の無人月面探査機「嫦娥5号」が17日、中国北部に位置する内モンゴル自治区の高原エリアに着陸し、帰還しました。月面から採取した土壌サンプルの回収に成功し、世界で3か国目の快挙となりました。同探査機は今年11月24日に中国南部の海南島で打ち上げられ、同12月1日に月の表面に軟着陸していました。また、2019年1月には、「嫦娥4号」は月の世界初の裏側への軟着陸にも成功しています。

「嫦娥」は中国では、月と言えば思い出すくらい誰もが知っている神話上の人物で、「不死薬」を飲んで月に飛び上がり、永遠に月で暮らしている仙女として知られています。そして、「玉兎」という白い兎がいつもそばにいるとも言われています。

実は「玉兎」月面観察車が、「嫦娥3号」から搭載されています。また、昨年「嫦娥4号」が月の裏側へ軟着陸した後、「玉兎2号」と互いに写真を撮ったニュースもまだ記憶に新しいです。

米中間の宇宙開発をめぐる覇権争いが激化しているという話をよく耳にしますが、名前にロマンチックな伝説もあるという豆知識も皆さんに知っていただけたらと思います。

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## タイの景気動向

りそな銀行バンコック駐在員事務所

◆タイ中央銀行が発表した２０２０年１０月の主要経済指標（速報値）によれば、タイ経済は前月から悪化した。個人消費指数は前年同月比１．１％減。９月に小幅拡大したものの、再び減少に転じた。工業生産指数は同６．８％下落した。民間投資指数は同４．９％減少。機械・設備及び建設分野への投資の減少幅が拡大した。公共支出は現行予算執行の遅れを背景に減少に転じた。観光部門は深刻な低迷が続いている。タイ政府は特別観光ビザ（ＳＴＶ）による外国人旅行者の入国を開始したが、入国者はわずかだった。

◆タイ商務省によると、２０２０年１０月の輸出額は前年同月比６．７％減の１９３億７，６６８万米ドル。マイナス成長は６カ月連続だった。食品類の一部、在宅勤務関連製品、新型コロナウイルス防止関連物資等は順調に伸びている。農産物・加工品の輸出は前年同月比８．８％減、工業製品は同４．７％減。家具・同部品、電子製品・同部品、電気製品・同部品、ゴム製品は増加したが、自動車・同部品、石油関連製品等は減少した。市場別では、米国、中南米、インド、オーストラリア向けの輸出額がプラス成長。日本、中国、東南アジア諸国連合（ＡＳＥＡＮ）、欧州連合（ＥＵ）向けはいずれも減少した。

輸入額は同１４．３％減の１７３億３，０１５万米ドル。この結果、貿易収支は２０億４，６５３万米ドルの黒字となった。今年１～１０月の輸出額は前年同期比７．３％減の１，９２３億７，２７７万米ドルだった。一方、１０月の対米ドル・バーツ相場は平均で１米ドル＝３１．２５バーツで、前月の３１．３７バーツ比バーツ高となった。

◆タイ国家経済社会開発委員会（ＮＥＳＤＣ）によると、２０２０年第３四半期の国内総生産（ＧＤＰ）成長率は前年同期比６．４％減だった。前四半期の１２．１％減から回復した。輸出の拡大、民間投資・消費の回復が挙げられる。２０２０年通年のＧＤＰ成長率予測を６．０％減に上方修正。

◆タイ商業省が発表した１１月の一般消費者物価指数（ＣＰＩ）は、前年同月比０．４１％下落した。前年同月を下回ったのは９カ月連続。食品・飲料は同１．７０％上昇した。

特に生鮮野菜が同１７．２８％と高騰した。非食品は同１．６４％下落。また、今年１～１１月のＣＰＩ平均値は前年同期比０．９０％下落した。

## 主要経済指標

＜月次データ＞

| 項目 | 単位 | 2020/1 | 2020/2 | 2020/3 | 2020/4 | 2020/5 | 2020/6 | 2020/7 | 2020/8 | 2020/9 | 2020/10 | 2020/11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実質GDP成長率 | % | - | - | -2.0 | - | - | -12.1 | - | - | -6.4 | - | - |
| 消費者物価上昇率 | % | 1.1 | 0.7 | -0.5 | -3.0 | -3.4 | -1.6 | -1.0 | -0.5 | -0.7 | -0.5 | -0.4 |
| 失業率 | % | 1.1 | 1.1 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 2.2 | 1.9 | 1.8 | 2.1 | - |
| 輸出額 | 100万ドル | 19,626 | 20,642 | 22,405 | 18,948 | 16,278 | 16,444 | 18,819 | 20,212 | 19,621 | 19,377 | - |
| 輸入額 | 100万ドル | 21,181 | 16,744 | 20,813 | 16,486 | 13,584 | 14,834 | 15,476 | 15,863 | 17,391 | 17,330 | - |
| 経常収支 | 100万ドル | 3,092 | 5,178 | 623 | | 861 | 82 | 1,867 | 3,122 | 1,314 | 985 | - |
| 外貨準備高 | 10億ドル | 230.3 | 229.5 | 226.5 | 235.7 | 237.3 | 241.6 | 250.4 | 254.5 | 251.1 | 248.5 | 253.5 |
| 主要政策金利 | % | 1.25 | 1.00 | 0.75 | 0.75 | 0.50 | 0.50 | 0.50 | 0.50 | 0.50 | 0.50 | 0.50 |
| 対ドル為替レート | バーツ | 30.5 | 31.3 | 32.1 | 32.6 | 32.0 | 31.2 | 31.4 | 31.2 | 31.4 | 31.3 | 30.5 |

※ 対ドル為替レート：期末又は月末値　　主要政策金利：タイ翌日物レポ金利　　出所：Bloomberg

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい

りそなグループ

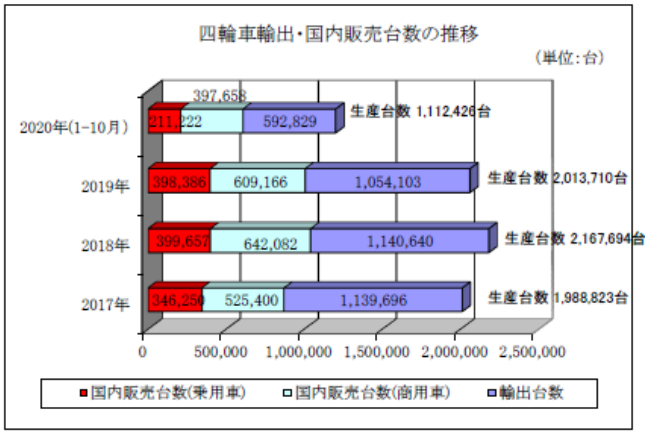
# りそな マーケットフラッシュマンスリー＆アジア・新興国FXフラッシュ （2021年1月号）

## タイにおける自動車産業の動向

りそな銀行バンコック駐在員事務所

出所：タイ工業連盟（FTI）

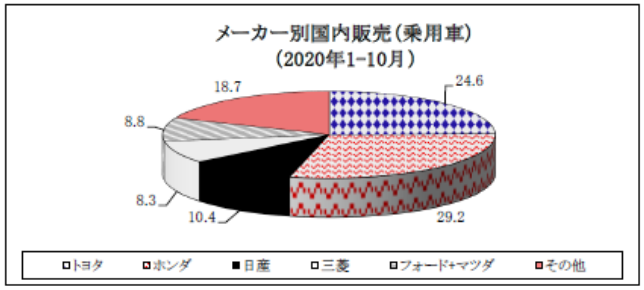
| | | | 2017年 | 2018年 | 2019年 | 2020年（1-10月） | 前年同期比（%） | 10月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 【台数】 | | （台） | | | | | | |
| 四輪 | 生産台数 | 乗用車 | 826,787 | 884,609 | 804,340 | 422,598 | 61.1 | 58,789 |
| | | 商用車 | 1,162,036 | 1,283,085 | 1,209,370 | 689,828 | 66.7 | 90,571 |
| | | 合計 | 1,988,823 | 2,167,694 | 2,013,710 | 1,112,426 | 64.5 | 149,360 |
| | 国内販売台数 | 乗用車 | 346,250 | 399,657 | 398,386 | 211,222 | 63.2 | 22,461 |
| | | 商用車 | 525,400 | 642,082 | 609,166 | 397,658 | 79.1 | 51,654 |
| | | 合計 | 871,650 | 1,041,739 | 1,007,552 | 608,880 | 72.7 | 74,115 |
| | 輸出台数 | | 1,139,696 | 1,140,640 | 1,054,103 | 592,829 | 65.4 | 71,372 |
| 二輪 | 生産台数 | | 2,055,193 | 2,063,076 | 1,948,480 | 1,280,651 | 79.2 | 166,636 |
| | 国内販売台数 | | 1,810,771 | 1,788,323 | 1,718,587 | 1,272,190 | 86.6 | 126,323 |
| | 輸出台数 | | 849,081 | 886,275 | 948,839 | 566,315 | 74.8 | 53,724 |
| 【完成車輸出金額】 | | （百万バーツ） | | | | | | |
| 四輪 | | | 603,038 | 594,810 | 545,968 | 329,020 | 70.2 | 40,801 |
| 二輪 | | | 54,828 | 61,654 | 69,933 | 47,076 | 84.3 | 4,738 |

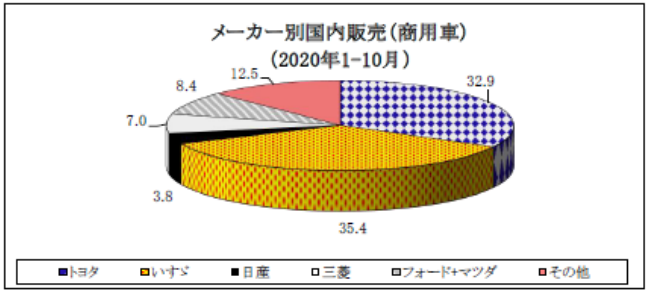



【メーカー別国内販売台数】

出所：トヨタ自動車

| | | 2017年 | シェア（%） | 2018年 | シェア（%） | 2019年 | シェア（%） | 2020年（1-10月） | 前年同期比（%） | シェア（%） | 10月 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| トヨタ | 乗用車 | 96,606 | 27.9 | 112,394 | 28.1 | 117,708 | 29.5 | 51,921 | 53.0 | 24.6 | 6,245 |
| | 商用車 | 143,531 | 27.3 | 202,719 | 31.6 | 214,672 | 35.2 | 130,919 | 73.6 | 32.9 | 19,464 |
| | 合計 | 240,137 | 27.5 | 315,113 | 30.2 | 332,380 | 33.0 | 182,840 | 66.3 | 30.0 | 25,709 |
| いすゞ | 乗用車 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0.0 | 0 |
| | 商用車 | 160,550 | 30.6 | 177,864 | 27.7 | 168,215 | 27.6 | 140,700 | 102.1 | 35.4 | 17,174 |
| | 合計 | 160,550 | 18.4 | 177,864 | 17.1 | 168,215 | 16.7 | 140,700 | 102.1 | 23.1 | 17,174 |
| ホンダ | 乗用車 | 95,078 | 27.5 | 95,793 | 24.0 | 96,154 | 24.1 | 61,665 | 74.7 | 29.2 | 7,233 |
| | 商用車 | 32,690 | 6.2 | 32,497 | 5.1 | 29,679 | 4.9 | 12,393 | 49.9 | 3.1 | 1,778 |
| | 合計 | 127,768 | 14.7 | 128,290 | 12.3 | 125,833 | 12.5 | 74,058 | 69.0 | 12.2 | 9,011 |
| 日産 | 乗用車 | 35,283 | 10.2 | 43,991 | 11.0 | 35,809 | 9.0 | 21,951 | 72.1 | 10.4 | 2,602 |
| | 商用車 | 24,426 | 4.6 | 28,403 | 4.4 | 28,605 | 4.7 | 15,110 | 62.7 | 3.8 | 1,412 |
| | 合計 | 59,709 | 6.9 | 72,394 | 6.9 | 64,414 | 6.4 | 37,061 | 67.9 | 6.1 | 4,014 |
| 三菱 | 乗用車 | 22,833 | 6.6 | 31,594 | 7.9 | 38,879 | 9.8 | 17,522 | 52.6 | 8.3 | 1,829 |
| | 商用車 | 46,904 | 8.9 | 52,966 | 8.2 | 49,365 | 8.1 | 27,814 | 67.5 | 7.0 | 2,985 |
| | 合計 | 69,737 | 8.0 | 84,560 | 8.1 | 88,244 | 8.8 | 45,336 | 60.9 | 7.4 | 4,814 |
| その他 | 乗用車 | 96,450 | 27.8 | 115,885 | 29.0 | 109,836 | 27.6 | 58,163 | 63.4 | 27.5 | 3,564 |
| | 商用車 | 117,299 | 22.4 | 147,633 | 23.0 | 118,630 | 19.5 | 70,722 | 72.7 | 17.8 | 8,841 |
| | 合計 | 213,749 | 24.5 | 263,518 | 25.4 | 228,466 | 22.7 | 128,885 | 68.2 | 21.2 | 12,405 |
| 合計 | 乗用車 | 346,250 | 100.0 | 399,657 | 100.0 | 398,386 | 100.0 | 211,222 | 63.2 | 100.0 | 22,461 |
| | 商用車 | 525,400 | 100.0 | 642,082 | 100.0 | 609,166 | 100.0 | 397,658 | 79.1 | 100.0 | 51,654 |
| | 合計 | 871,650 | 100.0 | 1,041,739 | 100.0 | 1,007,552 | 100.0 | 608,880 | 72.7 | 100.0 | 74,115 |




◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。